

市民公開講座
緩和ケアを誤解していませんか？
痛みが医療スタッフに伝わるコツ

淀川キリスト教病院
緩和医療内科
池永昌之

医師に自分の事を伝えるのは難しい？

忙しそう？

怖い？

**だめな患者と
思われる？**

どう言っていいか判らない

事実

知ってもらわないと
あなたの治療にならない

医師も教えて欲しい
痛みやつらさは、目には見えないから

病気を見つけるために



検査する…

同じように、症状も伝える
血液検査やレントゲンではわからないから

事実

時間には限りがある

上手に伝える

口火の切り方

「〇〇で××できない」

症状と困っていることを
結びつけて伝える！

目標が同じになる

一緒はうれしい！

詳細は…

医師が聴いてきます

⇒ 心の準備？

「いつ、どこが、どのように」

新聞記事のように(5W1H)

薬を飲んで、どうだったか

⇒ 前もって言いたいことをノートに

緩和ケア⇒**症状**を和らげる

ストレス軽減



生活安定

(動ける、食べられる)

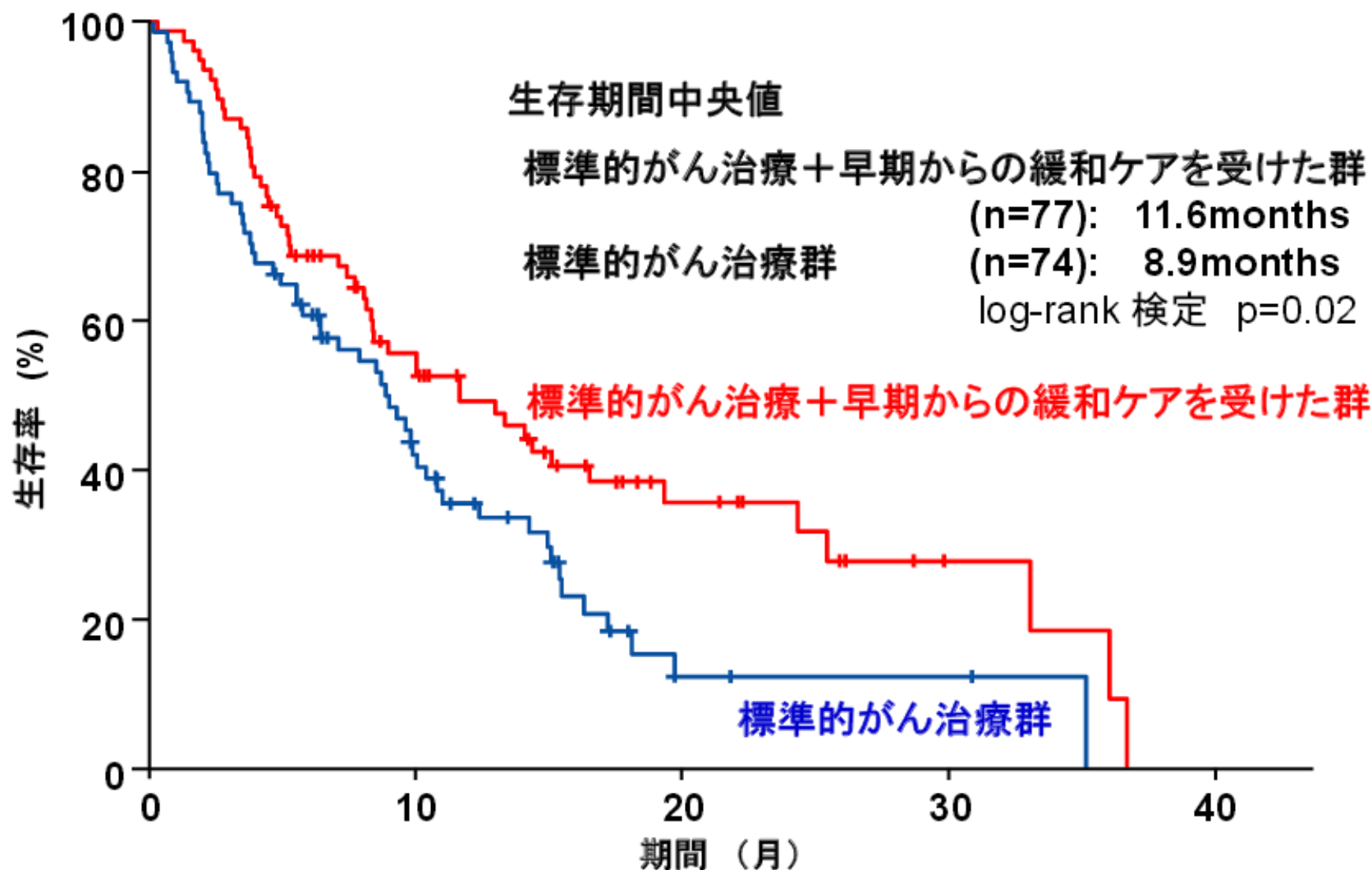


がん治療も継続



予後にも良い影響

再発進行性の非小細胞肺癌患者への 早期からの緩和ケア介入は生存期間に差をもたらす



医師に言いたいことを言うためのコツ

- ① 症状をお伝えください
- ② 「〇〇で××できない」
- ③ いつから・どこが・どのように・〇〇なのか？
- ④ 治療での変化は？ 前もってメモ
- ⑤ 緩和ケアは、今行っているがん治療とあなたの生活を支えます。

こんなことはありませんか？

- せっかく忙しいお医者さんが薬を出してくれたのに、薬が効いてないなんて言いにくい…
- 薬が効いていないと言ったら、怒られてしまうかも…

こんな風に考えてみてはどうでしょう？

- 痛みが続いているのは主治医のせいではなく、病気のせいなんだから、病気のことはちゃんと伝えなきゃ。

こんなことはありませんか？

- 痛みが強くなっているって、病気が悪くなっていることですよ。そんなこと、考えたくもない……
- 痛みを取ったら、病気がどうなっているか分からなくならない？

こういう風に考えてみてはどうでしょう？

- 痛みと病気の進行とは、実はあまり関係がありません。
- 病気のことは検査でちゃんとわかりますよ。

こんなことはありませんか？

- みんな心配して、一生懸命に考えてくれているんだから、痛みぐらい、自分ががんばらなくっちゃ！
- 「痛い」なんて言ったら、治療が中止になってしまうんじゃないの。

こういう風に考えてみてはいかがでしょうか？

- 痛みと闘うのではなく、痛みはしっかり治療して、病気と闘っていきましょう！

ご清聴ありがとうございました